

令和5年4月9日執行  
千葉県議会議員一般選挙

# 選挙公報

佐倉市・印旛郡酒々井町  
選挙区  
千葉県選挙管理委員会

情熱、行動力、政治経験を活かして  
「夢のあるまち佐倉・酒々井」の  
実現を目指します

伊藤まさひろ 7つの政策



伊藤まさひろ  
自由民主党公認

- 1 教育**
  - ◎学校の教育環境の整備(空調設備・洋式トイレ)
  - ◎給食費の無償化を推進
- 2 防犯・防災**
  - ◎犯罪の無い安心・安全なまちづくり
  - ◎防災力を強化し災害に強いまちづくり
- 3 福祉**
  - ◎医療施設・福祉施設の整備と人材の確保
  - ◎時代にマッチした子育て支援
- 4 道路**
  - ◎佐倉市・酒々井町の道路網、交通網の整備
  - ◎歩道整備や横断歩道整備などの安全性の向上
- 5 経済**
  - ◎地域経済を支える中小企業への支援と活性化
  - ◎観光の振興と農林水産業の活性化
- 6 環境**
  - ◎有害鳥獣、特定外来生物の駆除
  - ◎不法投棄撲滅を目指し規制強化、監視強化
- 7 印旛沼**
  - ◎県民の飲料水でもある印旛沼の水質浄化
  - ◎印旛沼と周辺の総合的な治水対策

伊藤まさひろ ▶ 昭和30年 佐倉市生 ▶ 佐倉市議会議員 2期  
プロフィール ▶ 日本大学法学部卒業 ▶ 千葉県議会議員 4期

- 所属団体経歴
  - ◎佐倉リトルシニア野球協会 会長
  - ◎日大習志野高校同窓会 会長
  - ◎佐倉ライオンズクラブ 会長
  - ◎佐倉青年会議所OB会 会長
  - ◎印旛沼水質保全協議会 顧問
  - ◎高崎川雨水対策協議会 顧問
- 千葉県議会経歴
  - ◎総務常任委員会 委員長
  - ◎総務・防災常任委員会 委員長
  - ◎総合企画・水道常任委員会 委員長
  - ◎商工労働・企業常任委員会 副委員長
  - ◎健康福祉常任委員会 副委員長
  - ◎文教常任委員会 副委員長

〈子供達の明るい未来を作るため〉  
政策提案します。



尾崎健  
おざき たけし  
立憲民主党公認

### ●子育て環境の整備と支援

- ①保育士の処遇改善をし、ゼロ歳児保育環境の整備と、待機児童ゼロの実現を目指します。
- ②小学校・中学校給食の完全無償化の実現に努めます。
- ③有機栽培の食材を使った給食の実現を目指します。
- ④通学路の安全対策と整備の早期実現に努めます。
- ⑤専門学校・大学の授業料完全無償化の早期実現に努めます。

### ●福祉

- ①高齢者福祉施設、障害者支援施設、ゼロ歳児保育園、児童養護施設等を一緒にした【複合型の地域支援センター】を作り、高齢者と障害者も参加する地域ぐるみで安心して子育てができるコミュニティの実現を目指します。
- ②高齢者介護のために、在宅医療、介護・生活援助サービスが受けられる環境整備に努めます。
- ③母子家庭とコロナ禍で生活が苦しい人たちに経済的支援を行えるように努めます。

### ●千葉県の地域経済発展のために新たな提案

海外からの旅行者が、成田空港から日本中を移動できるようにする千葉新幹線（東関東自動車道を、レインボーブリッジを走る〈ゆりかもめ〉のように二階建て構造にして東京駅と成田空港を繋ぐ）の実現を目指します。羽田空港に比べて不利な立地条件をカバーして、使い勝手のよい国際空港にするとともに、魅力ある観光地の開発を、千葉県の豊かな観光資源を利用して行い、千葉新幹線の建設とセットで進めるプランの実現を目指します。

尾崎 健(おざき たけし)・千葉県民(佐倉市民)になって26年。  
・1963年北海道登別町生まれ。洞爺湖温泉町で18歳まで暮らす。  
・國學院大学法学部を卒業し、民間企業を数社経験した後、外資系IT企業の輸出入事業部で通関士として勤務。その後、外資系国際物流企業に15年勤務し、2023年3月末日で退職。  
・家庭環境による子供達の教育格差をなくし、すべての子供達が高等教育を受けられる環境を作ることは、日本の未来を作る子供達に対する価値ある投資です。そのためにも子供達の専門学校・大学の授業料の完全無償化の実現を目指し活動を始めます。  
・趣味：水泳、ジョギング、山登り、映画鑑賞、国内・海外旅行、世界の美術館巡り。近年は「東京作家大学」を卒業(2021年)し、小説の執筆にも取り組んでいる。

全国ワーストから脱却を!

千葉県は、財政力指数が全国第5位。余裕があるはずなのに、暮らしに直結する教育と医療が全国ワーストレベル! 全力で改善に取り組みます。

- 子ども教育**
  - ◆学級担任がいらない危機的状況
  - 2023年1月1日時点の教職員未配置は**420人**。(全国ワースト1位)
  - 【原因】①教職員の採用数が法定数を満たしていない ②給与と待遇が悪い
  - 採用数を増やすため県費を投入!
  - 臨時教職員の待遇を改善し人員確保
- 医療**
  - ◆コロナ対応の発熱外来の数(10万人あたり)が全国で一番少ない
  - ◆医師・看護師の数も10万人当たり、ワーストレベル
  - 再び感染拡大が起きてても対処できるよう、協力病院を拡大します
  - 医師・看護師の働き方改革の推進を
- まちづくり**
  - ★広域災害に備え、遠くの自治体と食料や生活物資の応援協定を結びます
  - ★通学路の歩道整備など安全性向上を
  - ★有機農業とオーガニック給食を推進

プロフィール  
1979年 秋田県秋田市生まれ 現在43歳  
1998年 秋田県立秋田南高校英語科卒業  
2002年 都留文科大学文学部国文学科卒業  
2019年~佐倉市議会議員  
元生活クラブ生協佐倉ブロック運営委員  
「オーガニック給食」署名運動実行委員長



川口えみ  
市民ネットワーク千葉県  
43歳

ねばり強さと行動力  
経験と実績で前へ



- 重点政策**
  - 年を重ねても健康で安心して暮らせるまち  
総合診療医を増やし、在宅医療を進めます
  - 一人ひとりに寄り添う「地域包括ケア」を進めます
  - 災害に強いまち  
県と市町村との連携を進め、危機管理体制を強化します
  - 再生可能エネルギーの地産地消を進めます
  - 水とみどりが豊かなまち  
佐倉・酒々井の美味しい地下水を飲み続けられるよう、県による汲上げ規制を見直します
  - 有機農業を広げ、オーガニック給食を導入します
  - 子どもが輝くまち  
すべての子どもが安心して学べる教育環境をつくります
  - 子ども若者の居場所を増やします
  - 人が集い心豊かなまち  
佐倉市・酒々井町の歴史自然文化を活かします
  - 地元への産業誘致やコミュニティビジネス支援を進めます

いのちと暮らし、守り抜く

- 主な実績**
  - 県議3期目
  - 新型コロナウイルス感染対策のタイムリーな要請
  - 病院や社会福祉施設への迅速な物価高対策
  - 若年がん患者在宅療養支援事業の創設
  - がん患者の相談支援体制を拡充
  - 県立高校に「居場所カフェ」設置
  - 鹿島川・高崎川の堤防強化
  - 新規就農者への支援拡充
  - 外来種ナガエツルノゲイトウの駆除対策を拡充
  - 酒々井町への新たな産業誘致を促進 他
- 1965年 宮城県仙台市生まれ  
1988年 国際基督教大学(ICU) 教養学部社会科学科卒業  
2003年~佐倉市議会議員  
2011年~千葉県議会議員 現在3期目  
健康福祉常任委員 議会運営委員  
立憲民主党千葉県連 副幹事長 組織委員長
- 連合千葉推薦

入江あき子  
立憲民主党公認

令和5年4月9日執行  
千葉県議会議員一般選挙

# 選挙公報

佐倉市・印旛郡酒々井町  
選挙区  
千葉県選挙管理委員会

# 千葉県議会議員選挙

## 投票日

# 4月9日(日)

## 投票時間

# 午前7時～午後8時

※一部地域を除く

新型コロナウイルス感染症対策として、  
投票所内での感染対策に取り組んだ上で選挙を実施します。  
また、投票所の混雑緩和のため、期日前投票の積極的な利用をお願いします。  
期日前投票・不在者投票は、4月8日(土)までの毎日、  
原則午前8時30分から午後8時までできます。  
なお、新型コロナウイルス感染症で自宅・宿泊療養などをされている有権者は  
特例郵便等投票を利用できます。

投票用紙の請求期限 4月5日(水)午後5時まで

投票用紙の請求先 各市区町村選挙管理委員会

詳しくは各市区町村の選挙管理委員会にお問い合わせください。